



季節の変わり目ですが みなさまいかがお過ごしでしょうか？ そろそろ夏の疲れが出てくるころですよ。

さて、今回は3月号のカニ鍋パーティーに味をしめた編集部がまたまたパーティーの食材を注文してみました。

# LIFE WITH INTERNET

通販生活編⑫ 旅とグルメの達人 愚留目 都亜

## 【スタミナ料理で夏の疲れを吹っ飛ばそう!】

7月にブラジルまで行ってきたばかりですが、8月に10日ほど香港とシンガポールに行ってきました。前回書いたように、私たち夫婦はユナイテッド航空の顧客プログラムに加入しています。そのプログラムの特典として発券された無料航空券を使っただけです。

成田から香港、シンガポールと回って成田へ帰ってくる旅程で、久しぶりにファーストクラスを利用した旅行でした。いつもエコノミークラスを利用している私たち夫婦にとって、ファーストクラスを利用できるのは、この無料航空券が香港発の世界一周チケットぐらいのものです。

この10日間の旅行の間にパスポートに押された出入国のスタンプの数は、合計で18個にもなります。入国順に国名を上げると、香港、マカオ、中国、マカオ、香港、シンガポール、マレーシア、シンガポール、日本となります。要するに、香港からマカオへ往復し、さらにマカオから中国に往復したというわけです。

1日目の夜遅くに香港に着き、翌日朝にマカオに移動しました。荷物をホテルの部屋に置き、すぐに中国に出発です。マカオか

ら中国へは歩いての国境越えです。入国してすぐのところにある少し大きめの「ふかひれ」レストランで昼食をとりました。これが今回の旅行の最初の食事というわけです。

2人でそれぞれふかひれスープを食べ、ほかに4皿ほど注文して4,000円弱でした。もちろんすごく安いのですが、4、5年前よりははるかに高くなっています。

シンガポールからマレーシアへはバスを利用しました。マレーシア側のジョホール・バルという街にある、Hyatt Regency Johor Bahruに宿泊しました。各種サービスがつく特別フロアに宿泊して13,000円程度と、とても安くなっています。

マレーシアの物価はとても安く、ショッピングセンター内のホーカーズ(屋台街)的などころでは、1人250円もあればお腹一杯たべられます。私たち夫婦の嗜好に合う味なので、結構気に入っています。

帰国日は一番のピークと予想される8月18日でしたが、思ったほどは混んでいませんでした。

今年は特に旅行づいている年です。例年は年に3、4回旅行するのですが、今年は、8月までにすでに6回も旅行しています。

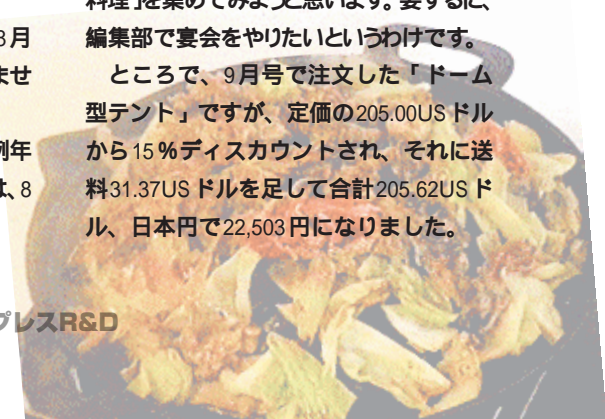
で、9月に7回目の旅行に出かける予定です。アメリカからメキシコに行くつもりです。テオティワカンとメキシコ料理が目的です。

この旅行の準備をしていて新しい発見がありました。前回紹介したTravelWebですが、飛行機の予約もできるようになりました。ただ、残席状況などが分からないので、私にとっては使いにくい点があります。

また、イージーセーバーシステムがウェブブラウザから利用できるようになりました。URLは<http://www.easysabre.com/>です。実際はトラベロシティでのサービスとなりますが、今までコンピュサーブにTelnetして利用していた私としては結構利用価値があります。Telnetでコンピュサーブ経由で利用するより、このウェブページのアクセスのほうがレスポンスがいいようです。

さて今月は、夏バテ対策として「スタミナ料理」を集めてみようと思います。要するに、編集部で宴会をやりたいというわけです。

ところで、9月号で注文した「ドーム型テント」ですが、定価の205.00USドルから15%ディスカウントされ、それに送料31.37USドルを足して合計205.62USドル、日本円で22,503円になりました。



商品番号

# 46番 DEAN & DELUCA のカレーセット

URL <http://www.dean-deluca.com/>



今月の最初の商品は「カレー用のスパイスセット」です。紹介するお店は、ニューヨークのSOHOにある「DEAN & DELUCA」です。

このお店は、私たち夫婦がニューヨークに行ったときは必ず1回は訪れる食材&デリ屋さんです。ほかに、Balducci's、Jefferson Market、Zabar'sなどが有名なお店です。

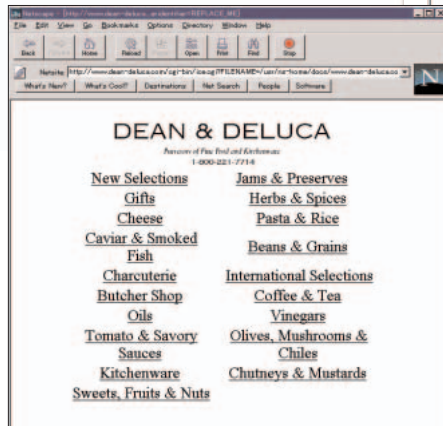
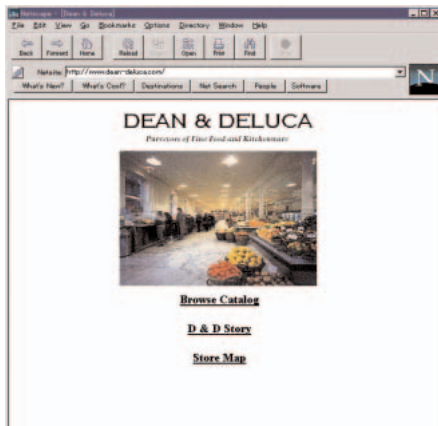
DEAN & DELUCAは、ニューヨーク以外にも何店か支店を出していますが、今回

紹介するWWWでは、ニューヨークのSOHOのお店の紹介しかしていません。

DEAN & DELUCAでは、カタログを発行して通信販売をしていますが、そのカタログを含めた商品情報がWWWで見れて、オンラインで購入できると考えればいいでしょう。

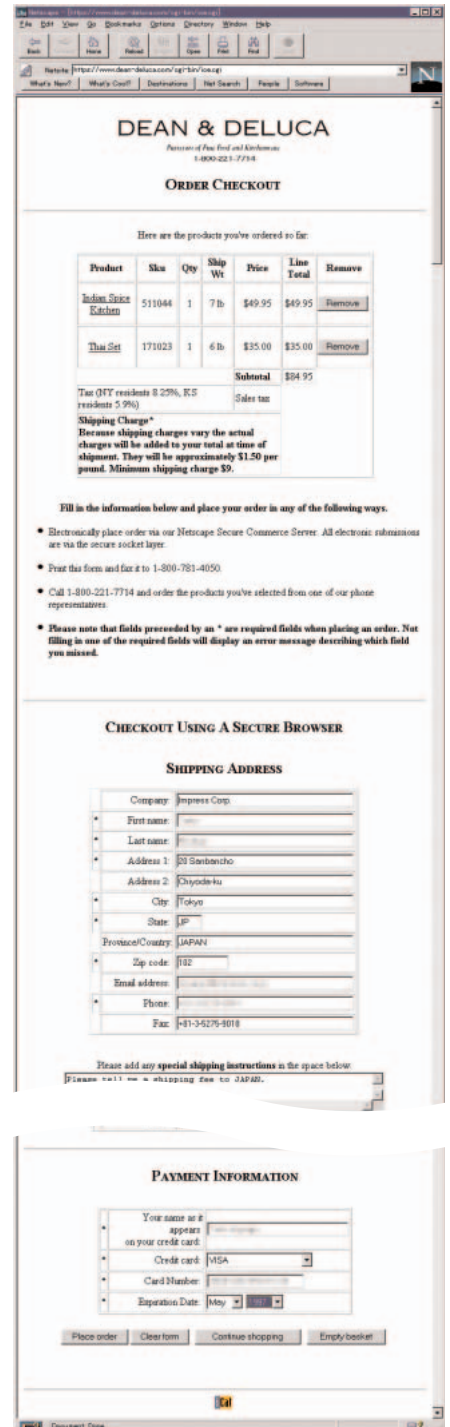
今回は、「International Selections」の中から、「Indian Spice Kitchen」と「Thai Set」を購入することにしました。

▼「DEAN & DELUCA」のトップページ。ニューヨークのSOHOにあるお店の写が表示されている。



▲ トップページで「Browse Catalog」を押すとこのページが表示される。

▶ 先のページで「International Selections」を選べると、このページとなる。6種類の商品が表示された。



▲ 最終的な注文のページ。国名を入れる欄は用意されている。なお、Zip code(郵便番号)の欄は5桁の数字を入れる必要があった。

# 47番 チリ・スパイスのギフトバスケット

URL <http://www.frontier.net/~dietzmk/>

今月2番目の商品は「チリ・ペッパー」です。紹介するのは、アメリカのコロラド州にある「Dietz Market」というお店です。なお、ニューメキシコ州にも支店があるようです。

この店のトップページを表示させて最初に目に飛び込んでくるのは、チリ・ペッパーの「吹き流し」です。真っ赤なバックグラウンドカラーといい、この吹き流しといい、なかなか「ホット」そうなページです。

ページ上のリンクをたどってみると、ページ数的には小規模なお店だと言えると思いま

す。先の吹き流しをはじめいくつかの商品を販売していますが、商品数は全部で10個のみです。

今回購入したのは、「Fiesta Basket」というギフトセットです。商品の詳しい説明がページ上に載っていないのでイマイチ不安ですが、写真を見る限りではチリソースやチリ味のプレッツェルなど、ホットな食べ物が詰まっているようです。

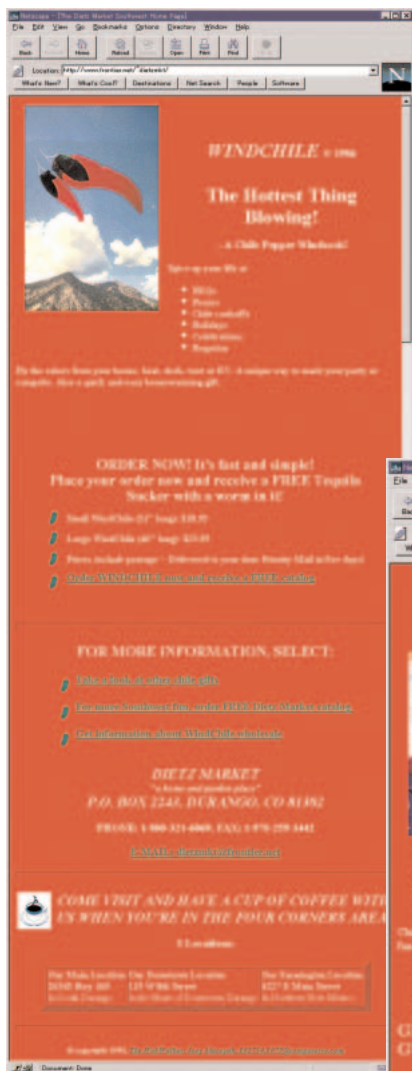
価格はアメリカ本土内向けの送料を含めて53USドルとなっています。取りあえず注文し、送料は別に問い合わせのメールを送ることにしました。

返送されたメールには、送料抜きの商品の代金は45.50USドルということと、各種の送料が示されていました。今回は、航空郵便を利用してもらうことにしました(送料は45USドル)

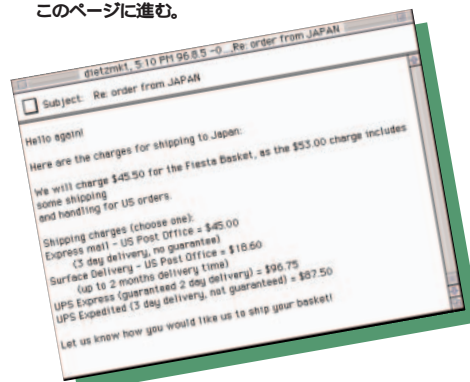
▼注文のページ。海外からの注文は、「メールで詳細を」となっている。今回はむりやり住所を入力し、別便にてメールを送ることにする。



◀これが「Dietz Market」のトップページ。最初に表示されているのは、「チリ」の形をした吹き流しの画像。これも購入可能。



◀トップページで「Take a look at other chile gifts」を選ぶと、このページに進む。



▲お店から送られてきたメール。船便、航空郵便、国際宅配便(2種類)を利用した場合の料金が記されている。

商品番号

# 48番 義経焼セット

URL <http://seagull.anchor-net.co.jp/rental/niku/>



▼トップページから「義経焼」を選ぶと、このページが表示される。米沢弁や肉を焼いている音まで聞くことができる。



▼義経焼の商品を紹介しているページ。商品の価格、送料などが分かる。注文するには「こちら」をクリックする。

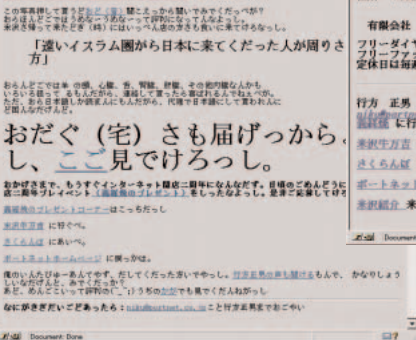


▲「米沢うまいもの屋」のトップページ。義経焼のほかに、米沢牛やさくらんぼも紹介されている。

今月の3番目の商品は「義経焼」です。紹介するのは「米沢うまいもの屋」というお店で、「有限会社 羊肉のなみかた」の行方(なみかた)さんが提供しているWWWです。

米沢うまいもの屋では、義経焼のほかに米沢牛とさくらんぼも紹介しています。米沢牛は「グルメ小僧万吉」というお店の紹介で、さくらんぼは「喜多屋」というお店の紹介です。ともにインターネットで注文することが可能です。

WWW上の説明文はほとんどすべてが米沢弁によるもので、さらには写真だけでなく音による情報も提供されていて、なかなかの出来ばえになっています。



今回は編集部のみんで食べることになるので、ちょっと多めに必要です。WWWでは、1人前を200グラムとしているとのことなので、とりあえず5人前セットを2セット注文することにしました。

肉はオーストラリアのビクトリア州で飼育された羊のものを利用しているそうです。なお、より高級な羊肉の用意もあるとのこと。

▲注文のページ。代金の支払いは商品とともに送られてくる郵便振替用紙で支払うことになる。

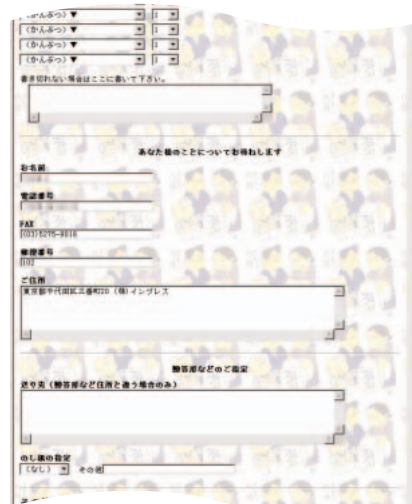
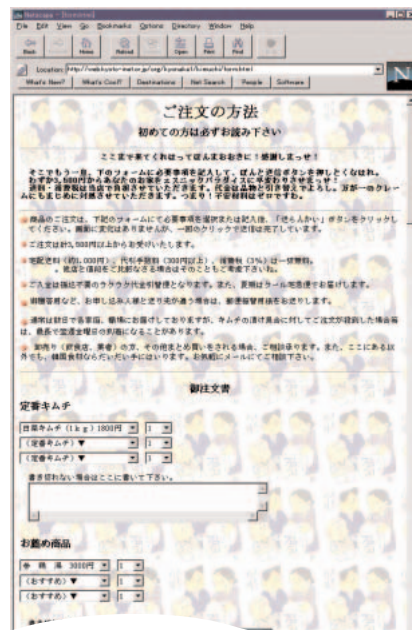
商品番号

# 49番 韓国のキムチと参鶏湯

URL <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/kyonaka1/kimuchi/>



▼これが「韓国風キムチ宅配便!」のページ。  
「京なかの」のWWWのうちの1ページ。



今月の4番目の商品は「キムチ」です。紹介するのは、京都の「京なかの」というお店のページです。

このお店では、大阪の鶴橋コリアタウンの韓国風キムチの直送サービスをしています。今回は、ここでキムチを買おうということになりました。

このお店で販売しているキムチは、原料を韓国から直輸入し、大阪の鶴橋で作られているものです。キムチは、白菜キムチ、キュウリキムチ、大根キムチの3種類で、それぞれ500グラムと1キログラムのものが用意されています。

また、「お勧め」としてチャンジャ、イカキムチ、参鶏湯(サンケタン)と読むそうです。が用

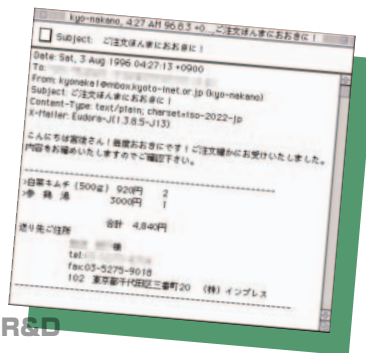
▲商品リストのページ。キムチのほか、珍味や惣菜、乾物、冷麺などがある。

意されています。ほかに、珍味として5種類、惣菜として5種類、乾物・冷麺として5種類の商品が用意されています。すべての商品が写真入りで紹介されています。

今回は、定番の白菜キムチの1キログラムのもと、参鶏湯を注文することにしました。支払いは代引きとなります。なお、送料、手数料、税金などの加算は必要ないので、WWWに表示されている価格のみで買えます。

▲注文のページでは、贈答用の場合の住所を入れる項目も用意されている。

▼注文後に届いた、注文確認のメール。



商品番号

# 50番 沖縄のビールとアイスクリーム

URL <http://www.ii-okinawa.or.jp/people/washita/>



▼ 「株式会社 沖縄県物産公社」の「わしたSHOP」のトップページ。



今月の最後の商品は「ビール」と「アイスクリーム」です。紹介するのは「株式会社 沖縄県物産公社」の「わしたSHOP」というお店です。

トップページの「沖縄県物産公社」という表示を見たときは、地方自治体の一機関かと思いましたが、「株式会社 沖縄県物産公社」が正式名とのことです。

1番目から4番目の商品でカレー、チリ、ジンギスカン、キムチと買ってきたので、とりあえずビールが必要です。そして食後にアイスクリームで締めくくろうということになりました。

わしたSHOPでは、ここで紹介するビールやアイスクリームのほかに、花、ドリンク、お菓子、沖縄家庭料理の食材、牛肉、ハムなどがあひ、はてはCD-ROMまで用意されています。

今回注文するのは、「オリオン ドラフトビール」の350ml缶24本入りと「ブルーシールアイスクリーム」の90ml24個入りの2点です。価格は、それぞれ4,350円と3,200円です。

注文はフリーダイヤルによる注文か、電子メールでのオンライン注文かのどちらかです。支払いは、郵便振替、代金引替え、銀行振込のなかからの選択となります。

注文ページでは、商品番号、数量、金額を入れる欄がそれぞれ1つしか用意されていませんでした。今回は2種類の物を購入するので、むりやり2つの商品番号を入れ、数量に「それぞれ1つ」としておきました。

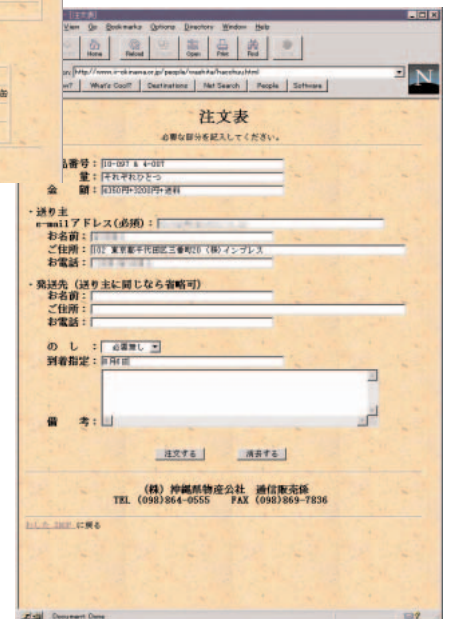
なお、注文ページには贈答用として、注文主とは別に送り先住所を指定することができます。



▼ オンライン注文のページ。商品の指定欄が1つだけだったが、むりやり2つ書き込むことにした。



▲ 「世界が誇る古酒泡盛」のページ。それぞれの図をクリックすると、拡大された画像が見れる。



▲ トップページで「アメリカンテイストアイスクリーム」を選ぶと、このページが表示される。



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)